

開会の辞



E. BATJARGAL
モンゴル日本語教師会 会長

皆様こんにちは。本日は、平日で皆様方はそれぞれ予定があり、大変忙しいとは思いますが、第 10 回「日本語教育シンポジウム」に御参加いただき、誠にありがとうございます。モンゴルの日本語教育のためにこんなに大勢の方にご出席賜ったことは共催者としてうれしく、心よりお礼を申し上げたいと思います。

今回のシンポジウムにお忙しいにもかかわらず、ご講演をしてくださるためにお越しくださいました松下達彦先生、奥泉香先生、オユンツェツェグ先生に日本語教師会を代表いたしまして感謝の意を表したいと思います。

第 10 回日本語教育シンポジウムは独立行政法人国際交流基金主催、モンゴル日本語教師会、モンゴル・日本人材開発センター共催、在モンゴル日本国大使館の後援のもとで行われますが、ご協力くださいました。在モンゴル日本国大使館をはじめ、モンゴル・日本人材開発センターのスタッフの方々、日本語教師会、日本語教育研究会運営委員会の先生方にもこの場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

今日は「読む力を育てるために—読解とは何か—」というテーマでシンポジウムを開催します。モンゴルの日本語教育に携わっている先生方は日本語教育をよりよくするために全員が同じ目標に向かって頑張っています。今回は「読解」をテーマにしたのには訳がございます。モンゴル日本語教師会は数年前から日本語能力試験をモンゴルで実施し、その結果を見てきています。その結果から見ると、毎年日本語能力試験の受験者が増加していることはとても喜ばしいことですが、その反面、日本語能力試験を受験する受験者の合格者が不合格者に比較すると圧倒的に少ないのが現実であります。

ですから、日本語能力試験の合格者を増やし、モンゴルの日本語学習者の日本語を向上させるにはどうしたら良いかということでモンゴル日本語教師会運営委員会メンバーで話をしてきました。そこで分かったことは、合格・不合格どちらも読解点数が他の科目より低いことです。特に、不合格者のうち読解の他の科目の点数は合格していますが、読解が低いことで不合格者となっている受験者が多かったのです。ここで、日本語能力試験の読解向けの教育も必要ですが、日本語学習者の日本語能力のものは読んだものを理解する能力ですから、読解に力を入れようということで決定されたのです。

ですから、今回の「読む力を育てるために—読解とは何か—」というテーマで行われるシンポジウムはとても大きな意義を持ち、日本から招聘されて講演をくださる先生方の話や他の発表者の話も意義深い勉強になると期待しております。さらに、これがモンゴルの日本語教育全体を推進することも願い、皆様のこれからのご活躍とご健康をお祈りし、開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。